

こうち+クロス

高知赤十字病院
広報誌

ご自由に
お持ち帰りください



特集：逆紹介ワーキンググループ

高知赤十字病院の理念

愛され、親しまれ、信頼される病院づくりを目指します。

高知赤十字病院基本方針

- 人道・公平・中立・奉仕の赤十字基本原則を遵守します。
- チーム医療を推進し、患者様中心の安全で良質な医療を提供します。
- 高度医療の推進と救急医療の充実を図ります。
- 地域医療機関との連携を推進し、地域医療レベルの向上に努めます。
- 教育・研修の推進と次代を担う医療従事者を育成します。
- 災害時における医療救護活動への積極的な参加と支援を行います。

患者さんの権利

私たちは、受診される皆様の権利を尊重します

- 患者さんの権利
- 医療における「子どもの権利」
- 障がいがある方の権利

患者さんの責務

当院では、患者さんの権利を尊重するとともに、協力もお願いしています

詳しくは当院ホームページをご覧ください
<https://www.kochi-med.jrc.or.jp/about/about.htm>



かかりつけ医への「逆紹介」の推進

～かかりつけ医と連携し、地域で支える医療～

当院は、地域の医療機関と連携し、役割分担を行うことで患者さんが安心して暮らせる地域医療の実現を目指しています。



1 かかりつけ医とは？

かかりつけ医は「健康の相談窓口」です。

かかりつけ医とは、日頃の体調変化や健康について気軽に相談できる身近な医師のことです。風邪などの急な体調不良だけでなく、

生活習慣病の
継続治療

健康診断後の
相談

薬の管理

専門医療機関
への紹介

など、日常の健康を継続的に支えてくれる存在です。

体調の変化を早期に把握できるため、安心して医療を受けることにつながります。

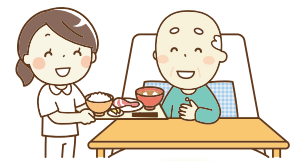


2 逆紹介とは？

通常の「紹介」は、診療所から病院へ患者さんをご紹介することを指します。

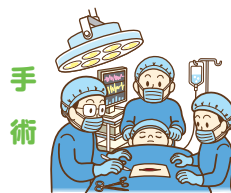
一方、逆紹介とは、専門治療や精密検査が終了し、病状が安定した患者さんを地域のかかりつけ医へお返しすることをいいます。

日本では、地域完結型医療を推進するため、国も病診連携を推奨しています。



症状が安定したら
地域のかかりつけ医へ
お返します。

3 当院の役割について



病状が安定された後は、地域の先生方と連携しながら、必要時にはいつでも再度受け入れる体制を整えています。

4 なぜ今、かかりつけ医への「逆紹介」が必要なのか

近年、地域の中核病院では、専門的検査や手術、急性期治療を担う役割がより明確になっています。そのため、

病状が安定
した方

継続的な投薬
管理が中心の方

慢性疾患で長期
フォローが必要な方

には、原則、地域の「かかりつけ医」へご紹介(逆紹介)させていただきます。

これは「診療を
断る」ということ
ではありません。



当院とかかりつけ医が役割分担し、連携することで、より質の高い医療を提供できます。

5

かかりつけ医を持つ5つのメリット

- ①体調の変化に早く気づき、早期発見、早期治療が可能
- ②必要なタイミングで専門病院を紹介してもらえる
- ③薬の重複や副作用を防げる
- ④継続した健康管理、サポートができる
- ⑤病気や症状、治療法などについての的確な診断やアドバイスをもらえる

普段の状態をよく知っている医師がいることは、大きな安心につながります。
かかりつけ医を持つことで、ご自身の暮らしに合った医療を受けることができます！

6

よくあるご質問

Q. どの病院へ紹介されますか？

- A. 紹介状をご持参の方は、原則、かかりつけ医(紹介元)へ紹介状を持参されなかった方は、ご希望の医療機関をご紹介します。
(医療機関の機能によりご希望に添えない場合があります。)



Q. かかりつけ医へ紹介された後、高知赤十字病院への通院はできなくなりますか？

- A. 当院を受診の際はかかりつけ医からの紹介状をご持参ください。かかりつけ医と連携して治療させていただきます。



Q. かかりつけ医は自分で選べますか？

- A. ご希望を伺いながら調整いたします。

Q. 高知赤十字病院が自宅の近くでも紹介されますか？

- A. お近くでご希望の医療機関を紹介いたします。

Q. 高知赤十字病院で複数の診療科を受診していますか？

- A. 症状が安定した診療科については、**原則、個別に逆紹介**となります。

当院へ通院されている皆さまへ

医療資源には限りがあります。
専門病院とかかりつけ医が役割分担を行うことで、

重症患者さんの受け入れ体制の確保

救急医療の維持

医療の質の向上



が可能になります。
皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

こんなときはかかりつけ医へ相談しましょう

- ♥健診で異常を指摘された
- ♥血圧や血糖が気になる
- ♥薬について相談したい
- ♥どの病院を受診すればよいか迷う



◆ かかりつけ医をまだお持ちでない方へ

地域医療連携室までお気軽にご相談ください。
ご希望の医療機関をご紹介します。



副院長就任のご挨拶



高知赤十字病院 副院長 奈路田 拓史

令和8年4月1日付けで副院長と医療社会事業部長を拝命致しました。令和7年4月には、溝渕院長、田埜副院長、有井副院長の体制となり、地域の中で当院の果たすべき役割の再考と当院の経営改善にむけた、新たなスタートとなりました。1年後の現在、田埜前副院長のかわりが務められるよう、研鑽していきたいと思います。

対外的には、医療社会事業部は地域医療連携課(室)を運営する、重要な任務のひとつがあります。

医療環境を取り巻く厳しい状況においても、各病院および診療所／クリニックの先生方と当院との連携をさらに強化し、よりよい医療が提供できるように、努力が必要と考えています。

田埜前副院長と地域医療連携課がこれまでに築いてきました、地域の先生方との窓口を縮小させることなく、協力体制を強化し、先生方のニーズにお応えできるよう、職員一同、対応をしていきたいと考えております。ご協力ご指導ご鞭撻のほど、お願いを致します。



副院長退任のご挨拶



田埜 和利

この度、長い間お世話になった高知赤十字病院から異動となり、高知県赤十字血液センター所長を拝命することとなりました。副院長を退任するにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

私は、平成元年からの二年間は外科医として、平成十年からは心臓血管外科医として当院で勤務致しました。医師人生の大半を、高知赤十字病院で過ごしたことになります。この間、先輩並びに同僚の先生方、コメディカルを含め数多くの職員の皆さん、そして地域の医療機関の関係者の皆様には大変お世話になり感謝しております。この場をお借り致しまして、厚く御礼を申し上げます。

心臓血管外科としては、成果を得られたこともそうでは無かったこともありましたが、なんとか診療科を維持してバトンをつなぐことが出来たことには安堵しており、今後の診療にも期待しております。

今後は、日本赤十字社高知県支部、高知赤十字病院と共に赤十字三施設の一員として、安全な血液製剤の安定供給を主体とした血液事業を通して、高知県の医療に微力ながら尽力して参りたいと存じますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

令和7年度 高知赤十字病院 初期臨床研修修了式・祝賀会



令和7年度初期臨床研修修了式・祝賀会を開催しました。
 令和7年3月末で研修を終了した研修医は10名。
 2年間、互いに切磋琢磨し、多くの方から支えられ、大きく成長しました。
 希望の進路へと胸を張って旅立っていく姿が頼もしく感じられます。
 これからも大きくはばたけ！職員一同、ずっと応援しています！



修了者



大津 奈那



岡本 滯奈



岸野 俊介



島田 杏奈



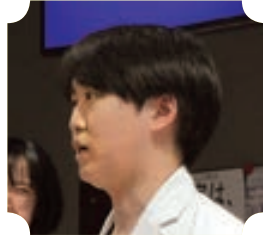
戸梶 智耀



島山 優樹



林 能亜



平井 智大



平岡 桃



和田 武裕



令和7年度 患者満足度調査結果

令和7年度も患者満足度調査を外来および病棟で実施いたしました。

アンケート調査に、多くの皆さまのご協力をいただき、貴重なご意見・ご要望をいただきましたことをお礼申し上げます。

当院は今後も、「愛され、親しまれ、信頼される病院づくり」を目指し、職員一同一層の努力をまいります。

引き続き改善に努めてまいります。お気づきの点がございましたらお近くの職員までお声かけくださいますよう、よろしくお願いたします。

患者満足度調査結果
全文はこちら

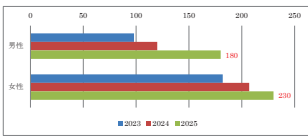


調査期間：令和7年10月20日(月)～令和7年12月5日(金)の平日

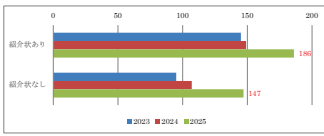
- 外来 ◆ 調査対象 外来受診をされた患者さん ◆ 回答件数 439件
 - 入院 ◆ 調査対象 調査期間中に退院された患者さん ◆ 回答件数 165件
- ※無回答のため、一部份数の合わない箇所があります。

外来部門 ※後発

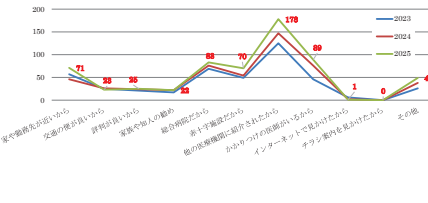
◇男女別回答件数



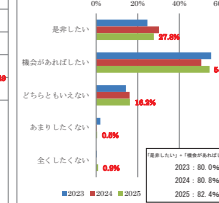
◇紹介状の有無について



◇当院を受診した理由について

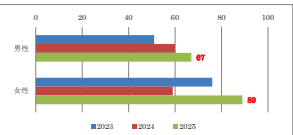


◇家族や知人に紹介・推薦したいか

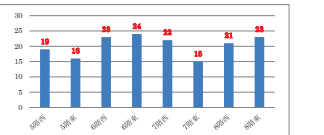


入院部門 ※後発

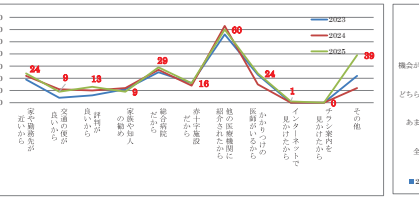
◇男女別回答件数



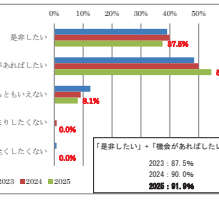
◇病棟別件数



◇当院を受診した理由について



◇家族や知人に紹介・推薦したいか



ご意見への回答

外来部門

ご意見内容	回答
新本町にある時から通院していますが、その頃の診察は触診や血圧測定も先生がやってくれた。今はそれが無い。	副院長：ご不安をお掛けして誠に申し訳ございません。触診や触診は診察の基本と考えますので、指導をしています。血圧測定に関しては不自由をお掛けしますが、現在外来に血圧測定器を数ヶ所設置させていただいてあります。診察前に測定するなどご協力をお願いいたします。
入院した際、病室担当の看護師さんに「親身」に対応いただきました。感謝です。ありがとうございました。	看護部長：嬉しいお言葉をいただきありがとうございます。今後も、患者さんやご家族の方に寄り添った医療・看護に努めて参ります。
入院からいろいろお世話になりました。Dr.はじめ皆様よくしてくださいました。ただ、いれかわりのある看護師の連絡が少し不十分に感じました。	看護部長：この度は貴重なご意見をいただきありがとうございます。看護部は交代制で勤務をしております。途切れない統一した看護を提供するため、勤務毎に情報共有を行っておりますが、ご意見をいただき、再度、連絡の重要性について指導いたします。
心電図の時、タオルを掛ける等の配慮があったらいいなと思った。(他の病院はあるところも)	検査部長：タオルを掛けるなど形が揃ってしまい、正確な検査が出来ないことがあるため、ご理解の程よろしくお願いたします。
入院食が他院よりおいしかったです。	栄養部長：とても嬉しいお言葉を頂き、ありがとうございます。従業員一同今後とも心を込めて美味しく召し上がって頂けるお食事の提供に努めて参ります。

入院部門

ご意見内容	回答
みなさん先生看護師ハビリの先生よくして頂きました。残念な事に転医することになりました。日替では長くはられないので仕方ありません。	看護部長：ご意見をいただきありがとうございます。当院は多数の施設と連携をとりながら医療を行っております。転院後の回復をこころよりお祈りいたします。 リハビリテーション科部長：当院の機能として地域の医療機関と連携して治療を継続していく役割があります。短入入院期間の中でリハビリテーションに關しましては最大限の運動機能の改善、日常生活動作能力の向上に努めていくようにしています。何卒ご理解はお願いいたします。 副院長：現在は、それぞれの病院の機能や特性にその時の患者さんの状態に応じて、患者さんに最も適切な医療が受けられる体制となっております。転院先での療養で早く回復されることを願っております。
紹介の翌日に手術をしていただき感謝しています。看護師の皆さんにも昼後問わずお世話になりました。ありがとうございました。	看護部長：感謝のお言葉をいただきありがとうございます。スタッフ一同、患者さんに寄り添い、少しでも不安を軽減し、安心した療養生活を送っていただけるように今後も努めて参ります。 副院長：手術により快復されましたこと、私ども大変うれしく思います。今後のご健康を、心よりお祈りいたします。
癌の再発は大変ではないが、質問に対して対応いただき幅広く満足でしたが、ただ一つ心残りは脳検査の治療の進捗をひとことで良いから知らせていただけたら。それ以外の不満はありませんので今後もお世話様になりたく存じます。	脳神経外科部長：貴重なご意見ありがとうございます。今後は治療の進捗状況も、患者本人、ご家族に伝わるようにしていきます。

第61回高知赤十字病院医学会

医療情報管理課 福嶋 妙子

令和8年1月17日(土)当院4階ホールにて「第61回高知赤十字病院医学会」が開催されました。学会長は溝渕樹院長、世話人は医局長の山井礼道第三外科部長です。

学会テーマは「高知赤十字病院 再建の道標 ～皆が出来ること、やること～」で、総参加者173名でした。

今回で14回目となる「Resident Presentation Award」では、8名の初期臨床研修医が発表し、審査の結果、最優秀プレゼンテーションは、發知陽花医師「免疫チェックポイント阻害薬誘発性膵炎(irAE)の1例」、優秀プレゼンテーションは、尾原健太医師「肺膿瘍から急性膿胸に進展し、緊急の掻爬ドレナージ術を要した一例」、川越崇弘医師「早期治療介入により壊死性筋膜炎への進行を防げた下肢蜂窩織炎の小児例」が選ばれました。

特別講演では、麻酔・集中治療部、柴田やよい医師、糖尿病・腎臓内科、坂本敬医師に、講演いただきました。研修医時代から現在に至るまでの歩みや、働くうえで大切にしている思いをユーモアも交えながら語っていただき、学びとともに、思わず頬が緩むひとときとなりました。

今回の院内学会では、従来の枠を超えた新たな取り組みとして、職員みなさんに投票を実施し、選出された部署に発表いただきました。この試みは、「みんなが本当に聞きたい発表を」という医局長の提案を受けて実施されたアンケート企画で、総務・人事課、医事課、医療事業・広報課が上位3部署に選ばれ、これを受けて“要望演題”という新しい形式のプログラムが実現いたしました。

本企画により、普段は表に出ることの少ない業務や、その裏側で行われている創意工夫・課題への取り組みが明らかとなりました。こうした内容に触れることで、参加者にとっても新鮮な気持ちで業務を捉え直す機会となり、部署間の理解を深めるだけでなく、組織としての一体感を高める新たなステップとなりました。

学会の締めくくりとして企画された「幹部が語る、私の原点・歴史・想い」は、今回初めての試みとなる講演であり、病院全体の発展を見据えた極めて象徴的なプログラムとなりました。院長、看護部長、事務部長の3名が登壇し、キャリアの原点や、組織を支える立場としての想い、そしてこれまでの経験から得た教訓について、それぞれ独自の視点から語っていただきました。

とりわけ、本講演では“肩書きではなく人としての歩み”が丁寧に紹介され、職員が普段接しているリーダーの背景を深く理解する貴重な機会となりました。

今年度の院内学会は、医局長から次々にあふれ出す斬新なアイデアに、何度も驚かされる学会準備となりました。「なるほど!」と共感する場面がある一方で、「えっ??」と、一瞬耳を疑うような医局長からの提案もあり、共感と戸惑いが交互に押し寄せる日々でした。しかし不思議なことに楽しいと感じる気持ちも常にあり、山井先生にぐいぐい背中を押されながら精一杯取り組みました。

無事に学会を終え、多くの皆さまより温かいお言葉、嬉しい感想をいただけたことは、事務局として大きな喜びです。ご参加ならびにご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。



研修医表彰(前列3名)



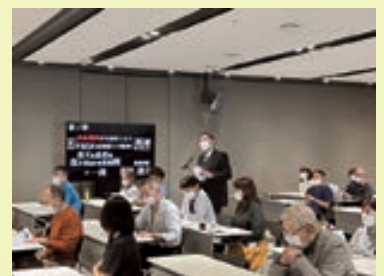
特別講演



要望演題



要望演題



特別発言



会場雰囲気

令和8年度 初期臨床研修医のご案内



令和8年4月1日に、7名の初期臨床研修医が入職しました。

当院は、国家試験に合格した新医師(研修医)が2年間の研修を行う「臨床研修病院」です。

臨床研修では、医師としての人格形成はもちろん、将来専門とする分野に関わらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身につけることを目標として、指導医や多職種の職員の指導のもとに研修を行います。

そのため、研修医が外来や病棟において皆さまの診療をさせていただくことがありますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

当院の臨床研修の理念・基本方針

理 念

医師としての人格をかん養し、医学及び医療の社会的な役割を認識し、基本的な診療能力を身につけることで、地域社会で愛され、親しまれ、信頼される医師を目指す。

基本方針

1. 将来専門とする分野にかかわらず医師として必要な基本的診療能力と、医師としての行動を決定づける基本的価値観(プロフェッショナリズム)を身につける。
2. 高い倫理観、他者と協調できる人間性、組織の一員としての社会性を身につける。
3. 患者と家族の多様な価値観や自己決定権を尊重し、信頼関係を築く能力を身につける。
4. チーム医療の一員であることを理解し、他の職種と連携する姿勢を身につける。
5. 社会的使命を自覚し、社会や医療情勢等に配慮した医療の提供に努める。
6. 科学的根拠に基づいた質の高い医療の提供のため、常に資質・能力の研鑽に努める。
7. 地域の中核病院として、救急医療・地域医療・災害医療の推進に努める。

令和8年度 日本赤十字社高知県支部救護員 任命式を執り行いました



以下の皆さんを任命します!

令和8年4月15日(水) 新年度の救護員任命式が日本赤十字社高知県支部により執り行われました。

救護班は、医師1名、看護師長1名、看護師2名、薬剤師1名、業務調整員2名の7名で、第1班から第6班の総勢42名で構成されており、災害救護プログラムや訓練、研修を年間を通して受講し、災害への対応力を向上させていきます。



令和8年度日本赤十字社高知県支部救護班編成名簿

	医師	看護師長	看護師		薬剤師	主事	
1班	前原 遼	川田 世里子	吉松 由紀	山崎 皓太	竹本 安希	白石 卓也	西内 直子
2班	太原 一彦	濱田 多得	濱田 一豊	今井 ユミ	浦田 佳奈子	戸梶 慎也	山本 早希
3班	大津 祐也	渡邊 文	宮田 めぐみ	田村 直子	岡崎 さおり	明坂 弥香	中平 秀行
4班	金澤 俊介	湯田平 千春	【高知県赤十字血液センター】	鈴木 多恵子	猪原 礼代	【高知県赤十字血液センター】	【高知県赤十字血液センター】
5班	小松 俊哉	久保山 百合	前田 智子	大川 百恵	松木 優弥	小松 悠哉	市村 美保
6班	鈴木 龍哉	北代 恭子	向井 直美	中田 由香利	石黒 日向子	岡上 恵美	岡村 太朗

- 氏名
- 職種・所属
- 趣味・特技
- 抱負
- 地域の先生にひとこと(医師のみ)



西森 友俊 にしもり ともとし
医師(整形外科)

- スポーツ(野球)、釣り、よさこい
- 皆様が安心して生活できるように、全力で頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。
- まだまだ未熟ではありますが、高知県の人に少しでも貢献できるように全力で頑張ります。今後ともご指導のほど、よろしくお願い致します。



古味 みなみ こみ みなみ
医師(内科)

- 読書とお菓子作り、写真撮影が好きです。カメラは最近始めたばかりですが、旅行先で風景を撮ったり、猫の写真を撮ることにハマっています。猫の多い島をめぐって、写真を撮りたいと思っています。
- 新たな環境で診療に携われることを大変嬉しく、また身の引き締まる思いです。これまでの経験を活かしつつ、さらに専門的な知識や技術を貪欲に学んでいきたいと考えております。チーム医療の一員として患者さんに最善の医療を提供できるよう尽力いたします。
- この度、内科に赴任いたしました古味みなみと申します。先生方からご紹介いただいた患者さま一人ひとりに誠心誠意向き合い、適切な医療を提供できるよう尽力してまいります。医師として4年目を迎え、まだまだ経験も浅く至らぬ点多々あるかと存じますが、地域の先生方からも多くを学びながら成長していきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



遠藤 鋭人 えんどう はやと
医師(外科)

- 絵を描くことや、サッカーが好きです。
- 高知に来ることができて嬉しいです。高知県の医療に貢献できるよう、精進いたします。
- 2026年度より外科医として高知赤十字病院に着任いたします。遠藤鋭人(えんどうはやと)と申します。高知で働かせていただくのは初めてですが、とても気候も良く、住み良い町であり、これからの生活を楽しみにしております。高知県の医療に貢献できますよう精進いたしますので、何卒よろしくお願い致します。



餌取 勇介 えとり ゆうすけ
医師(産婦人科)

- 最近、温泉とサウナとサウナ飯作りにはまっております。
- 産婦人科の一員として、少しでも力になれるように精進致します。
- 高知大学から来ました、専攻医2年目の餌取 勇介と申します。まだまだ未熟ですが、

指導医の先生方の背中に少しでも追いつけるように努力いたしますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



森川 泰丞 もりかわ たいすけ
研修医(臨床研修センター)

- 趣味はキャンプ、魚釣りといったアウトドアなものやスポーツ観戦も好きです。特技は剣道です。幼少期より現在までずっと剣道をして、肉体・精神共に鍛えています。
- 臨床現場に出ると初めて出会うことがたくさんあり、分からないことも山ほどあると思いますが、何事にも全力で挑み、貪欲に学んで成長したいです。また医療を通してたくさんの人と触れ合い、人間としても成長したいです。
- 将来は外科に進もうと考えておりますが、初期研修の2年間は外科以外もたくさん学び、医師としての総合力をつけたいと考えております。至らない点ばかりかもしれませんが、何事にも全力で取り組みますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



島村 光太郎 しむら こうたろう
研修医(臨床研修センター)

- 散歩、温泉、スポーツ観戦が好きです。新しい趣味もこれからまだまだ見つけたいです。特技は暗算です。
- 新しい環境に不安もありますが、前向きな気持ちで研修に励みたいと思います。一日一日を大切に過ごし、一早く成長を患者さんや社会に還元できるよう努力します。
- 今年度より初期研修医として入職しました。島村光太郎です。医療者の一員となることに嬉しさとともに、身が引き締まる思いです。至らぬ点多いかと思っております。何卒よろしくお願い致します。



大川 歩 おおかわ あゆむ
研修医(臨床研修センター)

- 趣味：映画鑑賞。特技：テニス。
- 医師としての第一歩を踏み出すことに身の引き締まる思いです。まだまだ未熟ではありますが、常に学ぶ姿勢を忘れず、患者さんやご家族に安心していただける存在になれるよう努力してまいります。笑顔と誠実さを大切に、日々成長していきたいと思っております。
- 未初期研修医として、多くのことを吸収できる貴重な2年間にしたいと考えています。上級医の先生方や多職種の方から積極的に学び、チーム医療の一員として責任を持って医療を提供していきたいと思っております。至らぬ点もあるかと思っておりますが、常に向上心を持って努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



江上 幸輝 えがみ こうき
研修医(臨床研修センター)

- 趣味はドライブと旅行です。車でいろいろなお所へ行くのが好きです。車の整備が得意なので

車のことならなんでも相談してください。

- 初心を忘れず、謙虚な姿勢で日々研鑽を積んでまいります。一つ一つの経験を大切にし、確実に力を身につけたいと考えております。周囲への感謝を忘れず、誠実に努力いたします。
- 地域医療の第一線でご活躍されている先生方のもとで学ばせていただけることを大変光栄に思っております。まだ未熟ではございますが、一つ一つの症例に真摯に向き合い、地域の皆さまに信頼される医師へと成長できるよう努力してまいります。何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



菊地 浩之 きくち ひろゆき
事務職(事務部)

- サッカーJリーグ観戦。横浜での高知ユナイテッドJリーグ入替戦勝利に感動。
- 本社から3年ぶりに戻ってきました。組織力と環境づくりを重視し、経営改善の視点で病院をより良くしていきます。



高島 正 たかしま ただし
事務職(事務部)

- 趣味：ドライブ、読書、旅行、コンサート、映画鑑賞。特技：護身術。
- 民間企業で勤務するのは初めてなので新たな気持ちで勤務する所存です。



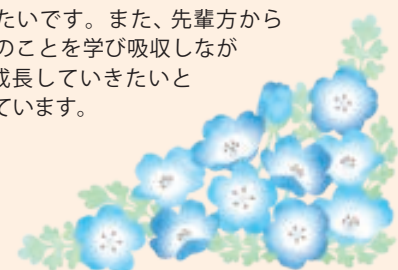
氏原 麻喜 うじはら まき
看護師(看護部)

- 趣味はカフェ巡りとよさこい祭りです。休日には落ち着いた雰囲気のカフェを訪れ、コーヒーやスイーツを楽しみながら、リフレッシュしています。また、よさこいには3年連続で参加しており、毎年踊りきった瞬間の達成感は格別です。
- 始めは慣れないことばかりでたくさんご迷惑をおかけすると思いますが、常に学ぶ姿勢を大切にし、チームの一員として安全で質の高い看護を提供できるように精一杯がんばりたいと思います。



山崎 優衣 やまさき ゆい
理学療法士
(リハビリテーション科部)

- 趣味は散歩をすることです。季節の変化や周囲の環境に目を向けながら歩くことで、気分転換をしています。
- 患者さんやスタッフの皆さまとのコミュニケーションを大切にし、明るく前向きにリハビリに取り組める環境づくりに貢献していきたいです。また、先輩方から多くのことを学び吸収しながら、成長していきたいと思っております。



開催場所

高知赤十字病院 2F図書ラウンジ

開催日時

第三水曜日 12時30分～

感染症拡大状況により、急遽中止となる場合があります。

また12月～3月はインフルエンザ流行期につき、休講いたします。

教室内容

健康講座(約30分)

対象者

地域住民の皆さま、外来・入院患者さま



当講座は、「健康でいきいき暮らす」ためのヒントや知識を、専門の講師が分かりやすくお伝えします。どうぞ、お気軽にご参加ください。

開催日	テーマ	講師
4月15日(水)	脳ドックのススメ	第一脳神経外科部長(医師)
5月20日(水)	たばこががんの話	呼吸器内科部長(医師)
6月17日(水)	糖尿病のキホンを知ろう	糖尿病看護認定看護師
7月15日(水)	熱中症、人ごとだと思いませんか？	救急看護認定看護師
8月19日(水)	医療保険について	医療ソーシャルワーカー
9月16日(水)	水分のとり方	救命救急センター-外来看護師
10月21日(水)	痛風 高尿酸血症について	健康管理センター長(医師)
11月18日(水)	みんなで防ごう！インフルエンザの予防の知識	感染管理認定看護師

摂食・嚥下障害看護 出前講座を実施しました

地域医療連携課長 野本 由記

令和8年1月27日高知西病院より依頼があり、摂食・嚥下障害看護認定看護師 浜田理美さんに出前講座として口腔ケアに関する研修会を実施しました。

当日は高知西病院の看護補助者さんを対象に、口腔ケアの基礎知識から日常ケアのポイント、患者様のベットサイドでの具体的な対応方法まで実践を交えながら講義をしていただきました。

参加のみなさまには終始熱心に耳を傾けてくださり、看護師と協働



しながらのベットサイドケアを見直す良い機会となり、口腔ケアに対する意識の向上に繋がる非常に有意義な研修会となりました。

今後もこのような研修を通して、地域支援病院の役割を実践していきたいと思っております。

放射線科部報告

放射線科部 高橋 健次郎

2月28日、徳島県で「第7回放射性同位元素内用療法セミナー」が開催されました。近年、放射性リガンド療法は新たながん治療として注目を浴びており、新薬の開発も進んでいます。当院では「地域医療への貢献」を目的に、県内初となる特別措置病室の設置をおこない、昨年度より神経内分泌腫瘍に対する放射性リガンド療法に取り組んでいます。この導入経験を基に、放射線科部の高橋技師から「特別措置病室の設計と運用の実際」について報告をおこないました。セミナーにご参加いただき、ありがとうございました。



セミナーのチラシ

地域医療を支える現場から学ぶこと ～大豊町の大田口医院への表敬訪問を通して～

地域医療連携課長 野本 由記

先日、地域医療連携課では、呼吸器内科・豊田部長、呼吸器病棟・濱田師長とともに、日頃より患者さんをご紹介いただいている大田口医院へ表敬訪問に伺いました。

今回の訪問は、これまでの連携への感謝をお伝えするとともに、今後の地域医療における協働について意見交換を行うことを目的としたものです。

大豊町は、高橋雄彦先生が赴任されてから約30年の間に、人口が半数以下に減少し、高齢化が急速に進んでいる地域です。そのような環境の中で、先生は「病気になるっても、できる限り住み慣れた地域で療養できること」を大切にされ、患者さん一人一人の生活背景や価値観に寄り添った診療を続けておられます。

また、日々の医院の診療だけでなく、地域の学校検診などに尽力され、子ども達の健康を守る活動にも積極的に取り組まれているとのことをお話を伺いました。医療機関が限られる地域において、世代を超えて住民の健康を支える存在として大きな役割を果たされていることが印象的でした。

患者さんにとって何が最善かを常に考え、治療方法

や療養のかたちを柔軟に選択されている姿勢は、地域医療の現場ならではの重みと温かさを感じさせるものでした。

「地域で診る」「地域で支える」という言葉を、日々の実践で体現されていることが強く印象に残っています。

今回の訪問を通じて、当院が地域医療を担う一員として、果たすべき役割を改めて考える機会となりました。急性期医療を担う当院と、地域で患者さんの生活を支える医療機関がそれぞれの強みを生かしながら連携することの重要性を再認識しています。

今後も顔の見える関係を大切にし、地域の先生方と協働しながら、患者さんが安心して治療・療養できる医療体制づくりに取り組んでいきたいと思っておりますので、地域医療連携へのご理解とご協力を引き続きよろしくお願いたします。



腹部救急医学会総会で 優秀演題賞を受賞しました

消化器内科 大家 力矢

2026年3月に第62回腹部救急医学会総会にて「当院におけるETGBDの現状」という演題名で、急性胆嚢炎に対する内視鏡治療成績を発表しました。当院では急性胆嚢炎の救急患者が多く、手術やPTGBD（経皮的ドレナージ）を多数施行していますが、高齢化や患者背景により手術やPTGBDができない患者も多く、内視鏡的ドレナージ(ETGBD)が増加しています。高度な内視鏡治療手技ですが、ハイボリュームセンターにも劣らない良好な成績で、優秀演題賞を受賞しました。今後もより救急医療に貢献できるよう研鑽していきます。



高度な内視鏡治療で
より多くの方を治療
したいと思います!



サンリオ文具セットをご寄贈いただきました

このたび株式会社サンリオ様から「One World, Connecting Smiles.」のビジョンのもと実施している「Sanrio Nakayoku Project (世界中に笑顔をお届けする社会貢献活動)」の一環として、文具セットをご寄贈いただきました。いただいた文具セットを入院中の子どもたちへ手渡しました。



受け取った瞬間に見られた笑顔が、病棟に暖かな空気を広げてくれました。受け取った喜びのなかで、描く・書く・伝えるといった体験が子どもたちの成長の一助となることを願っております。心温まる支援に感謝いたします。



うれしい〜♡

土佐長岡郡医師会生涯教育講演会を開催しました

毎年がんをテーマに医療従事者を対象に開催しており、令和7年度第4回は、土佐長岡郡医師会と共催で、3月10日(火) 18:30~19:30、本山町プラチナセンターにて開催することができました。



土佐長岡郡医師会副会長
古賀 真紀子 先生

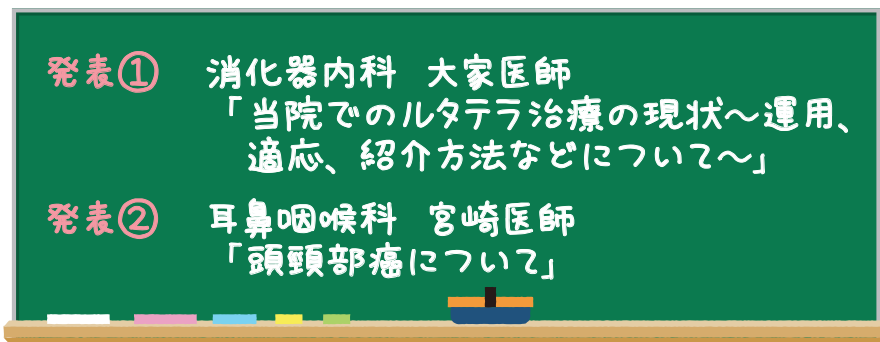


消化器内科医師
大家 力矢



耳鼻咽喉科部長
宮崎 かつし

参加者からは「希少ながんの治療について聞いた」「初めて聞く内容で興味深かった」「図や写真でわかりやすく治療選択もいろいろあるとわかった」などの感想をいただきました。多くの皆様のご参加どうもありがとうございました。



♣ こうちクロス3月号の吾川郡医師会生涯教育講演会開催の記事におきまして、座長の氏名が間違っておりました。お詫びして、訂正いたします。正しくは『座長 吾川郡医師会生涯教育委員長 西村 浩介 先生』です。

高知新聞企業医療公開講座

高知赤十字病院 医療公開講座

会場 高知赤十字病院 4階ホール P有

高知県高知市秦南町一丁目4番63-11

時間 13:30~15:00 (開場 13:00)

お願い：
感染防止対策
(マスク着用など)に
ご協力ください

令和8年

7月

25日
(土)



高知家
健康パスポート
ポイント付与
対象事業

参加無料 定員150名

対象：県民の皆さま ※事前申込み

■お申込み 高知市本町三丁目3-39 高知放送南館5階 高知新聞企業 セミナー係
☎ 088-825-4110 (平日 9:30~17:30)

お申込み用
QRコード



講演 1 13:40~14:10

慢性腎臓病

高知で長く元気に暮らすために、
知っていただきたいお話です

高知赤十字病院 第二内科副部長 辻 和也



講演 2 14:20~14:50

増えています大腸がん

いろんな治療法があります

高知赤十字病院 診療部長・第一外科部長
岡本 健



令和6年度年報を発行いたしました。くわしくは当院ホームページをご覧ください。

高知赤十字病院
ホームページ



<https://www.kochi-med.jrc.or.jp/>

高知赤十字病院
Facebook



<https://www.facebook.com/krch.kouhou/>

高知赤十字病院
Instagram



<https://www.instagram.com/kochinisseki/>

Instagram
はじめました



皆さまへよりよい情報提供ができる紙面づくりを目指しております。

本誌に対するご意見やご要望などございましたら、高知赤十字病院医療事業・広報課までお寄せください。
(088-822-1201 (代表))

